

平成 20 年度市政懇談会会議録〔六郷地区〕

日 時 平成 20 年 7 月 13 日 19:00～

会 場 六郷地区センター

参加者 72 人

市長からの市政報告、病院長からの現状報告のあと、参加者の皆さまとの懇談（質疑応答）に入りました。

懇談（質疑応答）

日之出町二丁目 男性

けやき通りの駅北側への将来の展望についてお聞きしたいと思います。現在 JR のアンダーパス工事をしていますが、将来は国道 1 号線バイパスまでつながる予定はあるのですか。また、今後の駅北開発の構想はどのようになるのか教えてください。

市長

JR のアンダーパス工事は平成 24 年に完成予定で、駅北開発推進協議会において、アンダーパスが出来れば具体的な協議が進んでくると思いますが、バイパスにつながるといった具体的な計画はありません。

特に、これから旭テックさんという大きな企業もありますし、市民の皆さんが環境保全で行くのか、あるいは開発でいくのかということは、もう少し時間をかけながら市民の皆さんや地元の方々と協議しながら、駅北開発については取り組んでいきたいと思っております。20 数億円、30 億円近い巨費を投じての工事がありますので、それだけの投資効果が出るように、これからも駅北の皆さん、六郷地区の皆さんともいろんな協議をして、投資効果が発揮できるよう進めていきたいと思っております。

青葉台二丁目 男性

6 月 26 日の日本経済新聞で、富士山静岡空港が市町村に対し出資枠を設けたという記事が載っておりました。内容を見ますと、牧之原市は出資に積極的だが、島田や吉田はそうでもない、足並みを揃えてやるということは難しいのではないかという記事がありました。出資枠と簡単に言いますが、株主になるということだと思っておりますが、私は富士山静岡空港というのは、菊川市の将来にとって非常に大切なものであると考えております。

株だとか空港という名前を聞いただけで拒否反応を起こす方が多数正直おられると思います。議員さん方は、態度をはっきりさせることで票を失うとも場合によってはあるかもしれません。しかし、将来にとってとても必要なものであると思いますので、私はぜひ積極的に取り組んでもらいたいと思っています。

掛川に新幹線が出来たとき、かなりの人が協力したけれども、そんな小さなものではないと思います。新幹線の駅は、東京から名古屋までの間にたくさんありますが、静岡空港は間にひとつしかできないものですから、市に予算がないとかそういったこともあろうかとは思いますが、賛同する企業や個人がたくさんおられると思うので、賛成する方々を集めて出資をしてもらおうなど、早めに態度を決めて、やるかやらないか結論を早く出したほうがいいと思う。菊川市としての態度をはっきり示していただきたい。

市長

建設的なご提言、ありがとうございます。

富士山静岡空港株式会社への出資の話ですが、この会社がどのような会社かというと、静岡銀行や静岡鉄道、スズキ、鈴与などの数少ない大手企業さんの出資で成り立っている会社です。民間会社にしたというのは、静岡県が民間活力を活用しようということで、100%民間会社に委託をし、静岡空港の駐車場の管理やターミナルビルの賃貸借とかを民間のノウハウでやろうとしてスタートしたのが事実であります。

これが最近になって、地元の自治体から自分たちも株主に入れて欲しいという話があったとかと聞いています。話があったのは牧之原市と吉田町と島田市ということであります。そういった中で、当然静岡県も出資をしていませんし、知事がやはり当初から空港会社は、民間会社の活力でやるべきであると考えているし、その民間のノウハウを生かしてやるとべきという基本的な考えの中、島田市も吉田町もそのようなスタンスで出資をしないということが新聞に出ていました。

菊川市は会社から出資して欲しいという誘いもありませんし、現時点におきましては、民間の力でやっていただいた方がいいのではと考えています。ただ、会社に対して出資をしないからといって、空港に対して関心がないとかということとは全く違います。それは行政レベルとか観光レベルとか、産業レベルとか、海外との交流とかは2年ほど前から着々と進めております。

例えば、外国との人的交流につきましては明日、中国の紹興市に菊川市の若手職員を2人派遣し、これからの行政、文化、歴史や産業経済の交流をどうしていくかということで、県の幹部職員と一緒に行ってまいります。

また、私も韓国ソウルに行きまして、これからの交流について話をしたり、

鹿児島に行き農業、工業、産業レベルでの交流をしたり、中東遠地域の組織の中では、観光について、商工会や観光協会のレベルできちんと協議をしています。ただ、積極的に見えにくいのは今、アジアナ空港が1社、北海道と札幌と沖縄と福岡という便数ですので、より具体的に今年いっぱい上海や広州市とかに飛行機便が飛ぶとなれば、新たな動きがでてくるのではないかと思います。当然、私たちも静岡空港株式会社の情報を入手している中で、どのように菊川市の産物や文化、誘客をどうしたらいいかを研究しています。窓口は、商工観光課になりますので、ぜひいろいろなアイデアをいただきたいと思います。菊川市も空港の活用につきましては、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

青葉台二丁目 男性

道路の舗装の上の方に、でこぼこしている部分や亀裂が入っている道路がたくさんある。整備状況が今後どんな風になっているか教えて欲しい。早く整備して欲しいというお願いです。もし計画があればそのことを教えて欲しい。

市長

青葉台地内の道路は出来てから25年経過していることもあり、舗装の耐用年数に近づいてきている状況です。市では徐々にですが、平成15年から舗装改修を進めております。厳しい財政状況の中、老朽度、いたみ具合を見ながら補修を計画的に進めていきたいと思っています。交通事故や子供やお年寄りが転んだりしないように進めていきますので、何か気づいたことがありましたら、自治会長さんや市へ連絡いただければ、現場を見まして対応させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

仲島 男性

河川菊川の上本所から仲島にかかる新川橋ですが、橋がかかって50年程経っていますが、当時火葬場に通じる橋としてかけられたとして聞いていますが、現在老朽化が進み、東海地震の耐久性の問題が指摘されていると思います。この新川橋は、仲島・青葉台・雇用促進住宅の住民の生活道路化し、通行頻度の高い利用価値・利便性を誇っています。

今後この橋は補強、改修計画があるか、このままで十分なのか、究極は危険橋として取り壊しの対象になってしまうのか、地元住民としては、ぜひ永久に残してもらい大いに利用したいと思っています。今後の市としての計画をお伺いしたいと思います。

市長

私も朝5時半ごろウォーキングで新川橋を歩いていますが、だいぶ古くなってきたとは感じています。

昭和33年にかけて、まさに50年という半世紀にわたっています。市としては、昨年度から市内で昭和30年代に作られた橋の安全性について重点的にチェックをしております。

新川橋も今年度改修工事を行う計画としております。建て替えの計画はありませんが、耐震的にも心配もありますので、今年度調査をし、強度についても確認をしていきたいと思っています。補修工事の際には、通行止めにして工事をなるべく早く行いたいと思いますのでご協力をお願いしたいと思います。

青葉台1丁目 男性

青葉台地区の下水処理場の解体後の利用計画についてお聞きしたい。青葉台は20年以上前から青葉台の下水処理場を利用してきました。菊川市の下水道の整備と青葉台の下水処理場の老朽化との兼ね合いで、青葉台の処理場を解体すると聞いています。下水処理場解体後の跡地の利用計画はどのようになっているのでしょうか。誰がどのように利用計画を立案するのでしょうか。地域住民の要望を聞いて、地域住民が利用できる施設を作っていただきたいと思います。例をあげれば、子供たちが天候に左右されず、地面に触れて遊べる施設、雨でも遊べる屋根つきの公園等はどうでしょうか。

市長

青葉台の皆さんには、長い間処理場の管理運営にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。おかげさまで本年2月に公共下水道に接続したことによりまして、青葉台下水処理場はその役目を終了しました。

今後、跡地利用につきましては、地元のみなさんと協議をしながら進めていきたいと思っています。誰がどこで決めるのかということですが、行政の中で方向を出し、方向が出たら地域の皆さんに提案をし、ご理解いただくなかで処理場の跡地計画につきましては、取り組んでいきたいと思っています。

壊すにもだいぶお金がかかりますので、その辺の考え方も庁舎内に作業に入るように指示をしていますので、また方法が出るときに相談させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

青葉台3丁目 男性

図書館の利用時間についてお願いがあります。市役所横と小笠に2箇所ありますが、定時は6時までとなっていて、仕事を5時までしている私たちにとつ

では、時間的に無理がある。うちの自治会なんかをみていますと、高齢者の方も増えています。せめて1時間でも利用時間の延長を考えてはいただけないか。職員数の問題があるようでしたら、その時間にずっと職員がいなくてもパートで考えてもいいのではないのでしょうか。市民の利用しやすい時間に延長していただきたい。休館日が周辺の掛川や島田、御前崎を見ましても同日の月曜日になっている。月曜がどこの図書館も利用できないので、周辺の休館状況を見ながら、菊川の休館日を変えてもらえないか。もし難しいようなら、せめて小笠の図書館と菊川の図書館の休館日を別の曜日にしてもらいたいので検討してください。

市長

図書館の開館時間と休館日についてですが、まず経緯については、合併時に菊川と小笠で開館時間に違いがあったので、市民の皆様アンケートをとった結果、午前10時から午後6時という時間帯に決まりました。土日の休館日の件ですが、当初、土日と祝日が重なった場合は休館日としていましたが、市民の皆様からのご提案をいただくなか図書館で工夫し、今年から開館日とすることにし、努力をしているところです。図書館経営、存在は菊川市のまちづくりで非常に重要な位置づけの施設として考えています。限られた職員のなかで、開館時間や図書館サービスを向上するように歴代の図書館長に工夫してやるよう指示しており、市民の皆さんからの要望やアンケートを生かさせていただいております。

8月1日から試験的に朝10時からを30分早めて、9時半から開館しようと動いています。そこでアンケートをとり、市民のどういう世代の皆さんがどのような時間帯にどういうものを必要としているか、利用者の声を聞きながらこれからの図書館経営をやっていきたいと思えます。一度に全ての時間を延ばすとか、休みを減らすとかは限られた財源の中で難しいとは思いますが、出来る範囲の中で図書館の充実を進めていきたいと思えますので、いろんなご提言やアドバイスをいただきたいと思えます。

青葉台3丁目 男性

環境資源ギャラリーへの持ち込みは、土曜・日曜は決められた日だけになっているが、土日の利用日をもう少し増やしてもらえよう掛川市と話してもらえないか。また、資源ギャラリーに持ち込めない廃棄物、農薬の空き瓶や農機具の処理方法も検討してもらいたい。

市長

環境資源ギャラリーの休日営業についてですが、まず経緯を話させていただきますと、ギャラリーの焼却場を作るときに、満水地区と西方地区の皆さんの同意をいただき、その時に覚書を結びました。地域住民から多くの要望いただいた中でも、特に安全対策が一番大きなものでありました。そういった中で365日毎日処分するという事は、地区の環境の問題やあるいは職員の問題もありますし、西方や満水地区の皆様との覚書を結ぶ上での1つの約束になっています。したがって、市民の皆さんが土日にオープンしてほしいからといって、わかりましたと簡単にできない経緯があるということをご承知いただきたいと思っております。当然、市民サービスのために、これからゴミ行政をどのようにしていくことがゴミ減量化や環境保全につながっていくかということは、今日のご提案を参考に考えさせていただきますが、そういった背景があることはご理解いただきたいと思っております。

また、農薬のビンや古い農機についてですが、これについても法的なものや地域との協議があります。農薬のビンや古い農機具については、JAで引き取りを行っていたり、農薬のビンにつきましては、販売元が処理をするようになっていると思っておりますので、一度お買い求めになったところに相談していただき、それでも解決しない場合は、市の環境推進課にご相談いただければ出来る範囲で相談に乗りたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

青葉台1丁目 男性

自治会選出各種委員には市から報酬が払われておりますが、21年度コミュニティ協議会役員については報酬が払われないという話も出ております。環境衛生委員には年間2万7千円、健康づくり推進委員には1万円、スポーツ委員については1万5千円、100戸を超えると2名選出が可能なので3万円、市から報酬が払われています。

先般行われた連合自治会総会のときに、環境衛生委員の報酬額について自治会の人数が多いところはゴミステーションが複数あり、人数に比例した増額ができないかという要望があったと記憶しております。スポーツ委員が人数割で、環境衛生委員が人数割でないというところで、報償額の根拠が明確になっていないのではないかと懸念されます。

現状では、自主防災会長と防災委員、生涯学習推進委員など無報酬の委員の方がいます。自治会長につきましては、行政事務委託料に相当分を含むということで、均等割が1つの自治会に12万円、班数割で1班4千円、世帯割で1世帯1,700円が自治会に委託料として払われます。ただ、使用の用途は各自治体にお任せしますと文面に明記されています。誰がどれだけ報酬を受けるのかというのがわかっていません。金額がわかっても算出根拠がわからないので、

それを明確にしてもらいたいということが1つ、また21年度から始まるコミュニティ協議会におきましてはボランティアで構成され、無報酬だと説明を受けています。コミュニティ協議会の委員の方と各自治会の委員の方の今後の位置づけを、誰が何をするのか、どこからが自治体でどこからがコミュニティなのかというその辺の位置づけ、それとコミュニティ協議会委員の報酬を無にした根拠について説明していただきたい。もしここで説明が出来ないようなら、今後それを整理していただきたい。皆さんが理解できるような根拠付けをお願いしたいと思います。

市長

合併の際に行ったすりあわせ協議の中、菊川・小笠にあったいろいろな各種組織・委員さんを調整し、規程が作られ、金額が決められたものと思います。自治会の中で配分をどうするかは、自治会の中で決められているのか、市の担当課が指示させてもらっているのかは、申し訳ありませんが今把握していませんが、市からお願いしている委員さんがたくさんいらっしゃるなか、ボランティアでも全く報酬が払われてないものや払われているものもあると聞いています。ただいま自治会の方から提案をいただきましたので、費用弁償や委員手当につきまして、今後内部でも協議をさせていただきたいと思います。これからコミュニティ協議会が立ち上がりますので、そこを踏まえまして内部でも協議をしたいと思いますので、少し時間をいただきたいと思います。

上本所 男性

上本所地区に流れる下前田川をどうするかということを知らせていただきたい。まず、菊川本線については、河川改修促進委員会等の活動、私も掃除をしたり活動しています。河川改修促進委員会の中で堤防とか、改修が進められたことについては大変助かっています。上本所地区も57年の大水の時に被害がすごかった訳ですが、すぐに堤防を作ってください、今は水が入ってこないというような状況になって、これについては非常にありがたく思っています。ただ、下前田川は私たちの子供の頃にはなかった川ですが、潮海寺や柳町を開発するに当たって排水路的な位置づけで作られた人口的な川でないかと考えています。下前田川の一番下のあたり、住民の皆さんからガードレールや防犯灯がほしい、また道路がでこぼこして困るというような要望や意見について、市の担当者と話をしているのですが、これが国交省の土地であるので、市として大きな工事ができないという返事がくる。しかし、住民にしてみれば、私たちの生活道路という考えで、いろいろな要望を出してもなかなか前に進まない。上本所でもまちづくりを考え、道路を広くしたいとか整備したいと考えても、ま

た下前田川で引っかかってしまう。国交省でダメだと前に進まないという状況になってしまう。国として、県として、市として、下前田川、排水路的な人口の川を今後どうするか、堤防を作ってまわしてくれるのか、水門をつけるのか、この辺の方針が欲しいし、私たちの希望も取り入れて欲しいと思います。

仮に下前田川、要するに潮海寺や柳町から出た水を一度に流すとすると、昭和57年の大水の際に上本所にもものすごい水が出たわけですが、そのときに下の小笠町の地区では、本川の堤防が揺れた、もう少しで決壊するということまでいったという話を聞いております。そうしますと上の方で一度に流してしまうと、下の方が溢れてしまう。方策としては、菊川の本川の川底を下げて、もっと流量を増やしてもらおう工事がいいのではないかと思います。一級河川が二級河川になる、国の管理から県の管理になってお金がないからなかなか工事が進みにくいだろうということを聞いている。川底を掘ればお金がかかるわけで、県の所管になったときにやってもらえるか、やってもらえなければ下に水がたまる。一級河川として国の予算でやってもらうのが一番だが、国はお金がかかるのでなかなかやってはくれないだろうと思う。そうなる菊川の水を下に流す工事をやってくれるのかどうか。

上本所の場所の水を下にきちんと流して欲しいが下の方が流れてくれないと迷惑をかけてしまうので、その辺の方針を教えて欲しい。

市長

菊川が国管理から県管理になってしまうということは、市としても今、重要な課題と考えています。下前田川の本川は、国の直轄で国土交通省が管理している川で、下前田川と合流しているところも国で管理してくれています。私たちも川の改修をお願いする際には、国土交通省まで行って協議をしています。そのような中で平成16年に国から改修のやり方について提案があり、市と上本所の皆さんと協議する中で、国の提案したやり方は適当ではないということで、国にもう少し考えてもらいたいと伝えてあります。

菊川市としては、菊川本線の一番下流の国安のところに砂がたまっているので、河床を下げて抜本的な排水の水面の面積を広げて水を流そうと、毎年10億円くらいのお金をかけて砂を掘削する事業を3年くらいやっています。そうすれば水が上流部から流れるということで、抜本的な改修をすべきという考えで市も改修期成同盟会も進めており、国土交通省も10億円くらいのお金を投入してくれています。天竜川も10億ほどのお金をかけていますので、いかに菊川がこれからも改修が必要で暴れ川であるかがお分かりいただけたと思います。昭和57年の大水の際は、上本所地区の皆さんには床上浸水等ご迷惑をおかけしました。市としては国土交通省と協議しまして、一日も早く水害のないまちづくり

を進めています。

一方、国は地方分権推進委員会の中で、ひとつの県の中で収束する川、静岡県では、狩野川・富士川・安倍川・菊川・天竜川の5つの国管理の川があり、そのうち天竜川は長野県から流れてきているが、後の川は全部静岡県の県内で終わっている川です。

これを静岡県で管理してくださいと言われていたのが、今回の地方分権推進委員会の提案です。私どもは、そんなにまだ河川改修も十分できていないのに、これからまだまだやる必要があるのに、今国から県に権限委譲して、国が財源を付けてくれるのか、県で災害に対応できるのか、人的に集中的な技術力をもっているのかが担保されない限り認められないとして、引き続き国の管理の中でやってもらいたいということで、私をはじめ議員さんで国に言っているところです。しかし、一級河川というのは、全国で109しかないんです。そのうち、ひとつの県の中で収束する川は65しかない。菊川は、国が直轄する川の中で全国で2番目に小さい川なんです。そうすると県の管理に一番なる可能性が高い川が菊川なので、とにかく今菊川の改修をきちんとやってもらい、前田川の整備をしてもらい、その上で県の管理にしてくださいということで動いています。

自治会長さんが危機感を感じているのは、今まで国がきちんとやろうとしていたことが、県ができないとは言わないけれども、国が県に税源移譲をして、10億円とか付けて、県がそれを菊川に投入してくれるかどうかをきちんとしてもらわないと菊川としては国の直轄にしてもらいたいと考えています。水害は瞬時に市民の財産と生命を奪ってしまうので、川の管理について、市としては、まだまだ国の管理としてやってもらいたい。市民の皆さんには、河川愛護や環境問題について協力していただいて、菊川ではこれだけ理解があるということを示して、バックアップしていただければと思います。改修同盟会の皆さんにもご支援をお願いしたいと思います。

青葉台1丁目 男性

中央公園を少し出た茶畑のところに貨物車輛が置いてありますが、その足場が崩れかけているので、地震が来たときに崩れると転がってくる恐れがあるので調べていただけないか。

市長

中央公園西側にある貨物倉庫は、私もあるのは承知していますので、所有者等を調べさせていただきまして、また自治会長さんの方に答えさせていただきたいと思います。

神尾 男性

駅南の区画整理事業を 20 年程やっているかと思いますが、年々進行状態を見ていると、店がなくなって住宅と月ぎめパークだけが非常に多くなっていて、後は新しくできた道を通るのみになっていて、何のために都市計画をやったのか、自分たちからすると寄れる店がほとんどなくなってしまっている。駐車場をもてる店をなぜ計画の中でしていなくて、歩道いっぱい住宅を建てる許可がでているのか非常に不思議に思う。金谷や相良町は店を並び替えて、また店ができていますが、菊川だけは違う。また、駅前からまっすぐ降りてくる道ですが、パーミアンのところで T 字路になって、その先に南には進まないと思います。菊川は十字路ではなく T 字路がまだまだ非常に多い。朝は渋滞がすごく続いて、一箇所交差点を通るにもすごく遅くなってしまいます。周りをみた道路整備や街場の道をつくるためだけの整備なら、あんなにお金をかけなくてもいいのではないかと思う。今後どうするのか、まちとして商店街としてこれから成り立つのかお聞きしたい。

市長

駅南の区画整理事業は、昭和の終わりから始まり、工事に入ったのが平成 2 年で 20 年を経過しております。総事業費は 160 億ほどの巨費を投じて、事業は来年完成する予定になっております。お話にあったように商店街がなくなったということも事実でありまして、当初あそこには 800 戸ほどの住宅がありました。現在 400 戸に半減しています。それに伴いまして、商店街も減ってきています。それは区画整理事業をやったから商店街が減ったのか、時代のすう勢の中で減ったのかは分析していませんが、区画整理事業は、商業振興という一方で住環境整備、駅ができてから 100 年ということで非常に古くなったということで、昭和 62 年に事業に着手したと記憶しています。掛信さんからけやきに抜ける道の交通が多く、パーミアンの所で道路がとまっているということで通過道路と交通が非常に不便ではないかということだと思えます。これから菊川の駅前広場も 3 倍の広さになりますし、国でもまちづくりにつきましては、今まで郊外型に施策をうっていましたが、昨年 11 月から国の法律が変わり、中心市街地活性化法ができました。そうした国の法律によりまして、それぞれのまちづくりや駅の周辺や郊外型など流れがあったので、商店街の皆さんにも 20 年間も工事してご迷惑をおかけしましたので、できたあかつきには、商店街の皆さんに頑張っていたいただき、昔のような賑わいができるように期待したいと思います。駅から南にくる道が歩行者専用道路、グリーンモールになり、掛信さんからけやきに抜ける道が 16 メートル道路で、その交通量が非常に多くなると思

います。商工会と市と協議しながら、区画整理の意味や位置づけを協議の中できっちりしていきたいと思っています。

青葉台二丁目 男性

菊川の河川の話が出ましたが、2年ほど前から気になっていて、浜松の国土交通省事務所に行って話を聞いてきたら、課長さんが出てきてくれまして、市長がおっしゃたように下から直さなければということで、下は直したと言っていた。今度は堰を取っていききたいという話をしている、それがいいかどうかということを決める委員会をやっていく方向にしたいとのことでした。もっと詳しい話はどうかと聞いたら、今、天竜川をやっているのが菊川の方はまだ出来ていないということでした。国の考え方としては、平成9年の河川法が改正され、今までは勝手に計画を作ってこれでやりますという話だったんですが、地元のみなさんの声を聞くというように態度が変わりましたので、市だけでなく、国の考えを聞くことも大事ではないかと思っています。

結局、県に棚卸しされてしまうのではないかという危惧もありますが、その前にぜひやる方がいいのではないのでしょうか。菊川に愛着を持っていますので、そういうふうを考えています。

図書館・アエルのことで質問がでましたが、人手が足りないということで、私もボランティアをやらせていただいています。係長が一人いて、もう一人職員がいて、あとは臨時職員でやっている。そういう方は一日中拘束できないと聞いています。利用者のマナーが悪くなり、本をもとの場所に返してくれないとか、その対応に追われて人手も足りない状態にいるとのこと。時間を延ばして欲しいという声もありましたが、以前に金曜だけ夜7時までやったが、周知不足ということもあり、結局あまり利用がありませんでした。そういうこともあって、積極的にという話が出ていないのかもしれませんが、今一度図書館のあり方、福島県の矢祭町では全国から古本を送ってもらって、空いた施設でボランティア12名で運営しているというのもテレビで見ましたので、ただやみくもにもっとやれというのではなく、住民の皆さんと一緒に作っていく市の館、市の集結拠点にもっていったらいいのではないのでしょうか。そうすれば、先ほどの時間を延長したいといった声にも答えられるのではないのでしょうか。地元の皆さんと一体となった形でやっていってもらわないと、行政にお任せでは立ち行かないと思います。文化のことで教育長に伺いたい。

教育長

皆様方には、いつも教育委員会のことについてはお世話になります。

地元の皆さんと一緒に作っていく図書館・アエルというお話しでした。私もそのとおりだと思っております。先ほど市長から話しがありましたように、現在菊川の図書館は職員7名、小笠図書館が職員6名で、それぞれ3名が正職員でそれ以外は嘱託です。そのなかで10時から18時まで開館しています。昨年、この市政懇談会のなかでいくつか要望がありました。今年は日曜日の祝日は開こうということでひとつ改善させていただきました。そして、8月いっぱい、子供たちが夏休みの間は少しでも工夫をして、延長しようということで9時半から開館しました。皆さんから意見を聞きながら作っていきたいと考えています。私たちも、少しでも市民側に立って、図書館を利用してほしいという基本姿勢には変わりありません。図書館ボランティアも考えていますので、PRへのご協力をお願いしたいと思っています。